



カトリック

三軒茶屋教会

# おとずれ

2017年3月12日発行 第62巻 第2号



四旬節号

## 放棄

主任司祭 ミカエル 湯澤 民夫 神父

今年の復活祭は、例年よりは遅いとはいえ、あつという間にもう四旬節である。いろいろ事情があって、今年は、毎回とも出席というわけにはいかないが、できるだけ十字架の道行きに参加しようと思っている。遠い昔だが、高校生の頃に母と一緒に参加していた。その教会は、午後3時からだったような気がする。大学受験の合格発表当日は、金曜日だったが、知らせが来ず、主任神父さんに報告ができなかった。今は違うが、その頃は、不合格なら「桜散る」と言った電報を頼んだものである。今考えると実に長閑だったと思う。

四旬節が近づくと、毎年、「今年は何を犠牲にしようか」などと考えたものだが、今年はいろいろ予想外のことがあって、犠牲を決めかねているうちに、四旬節に突入してしまった。引越しということがあって、去年の師走頃から、少しずつ身辺整理をしている。まず、神学院で教えていた授業も終わり、授業で用いていたたくさんの本が不必要になったので、瀬田の図書館を通じて、処分してもらった。しかし、残った本を見て、ため息が出た。こだわりの分野があって、今回それは、処分の対象から外したので、まだまだたくさんの本が残ったからである。心のどこかで、「これからは、少しは時間ができて、本が読めそうだ」と思ったからである。

本に限らず、たくさんの楽譜がある。昔、教会の典礼のための聖歌隊とは別に、一つの聖歌隊を組織していて、たくさんあるクリスマスのミサの一つで、聖歌を担当していたからである。その聖歌隊は、毎年10月に組織して、クリスマスで解散するのが常だった。土曜の夜に集まり、近くの焼き鳥屋で夕食を取る。独身の若者が多かったからである。前回の三軒茶屋への転勤で、解散になったが、その時の楽譜である。最初は、合唱が好きな仲間が集まる形だったから、聖歌以外の楽譜もたくさん残っている。参加者が残していった楽譜や、子供の頃からの楽譜を合せるとかなりの分量であり、かなり重複している。今回、それらの半分は破棄した。それでも多い。

使えるのではないかと、なにやかや集めておく性分なので、様々なものが集まる。印刷物の後ろが白いものは、かなり集めた。授業のノートやメモは、そうした裏紙を使うことが多い。今回、取っておいた裏紙を資源ごみに出したら、突き返された。多すぎるというのである。修道者として、無所有の誓願を立てながら、少々恥ずかしい。そんなわけで、一石二鳥、本、楽譜、裏紙などなど、本当に必要なものを残して、放棄する、これをこの四旬節の犠牲のテーマにしようかなと思っている。

ところで、あの受験の結果は、十字架の道行から帰った時、届いていた。「電報が来ていたよ」と、妹。もちろん、神父さんには、電話をした。

## ユスト高山右近の列福式

キリシタン大名、ユスト高山右近（1553－1615）の列福式が、2017年2月7日、大阪城ホールでとり行われた。

右近は、摂津国の武将、高山友照の嫡男として生まれた。洗礼を受けダリヨの名を授かった父友照に導かれ、1563年、母と共に受洗、ユスト（ジュスト、「正義の人」の意）の洗礼名を授かった。

父と共に戦国の乱世を武将・大名として生きる中で、揺ぎ無い信仰の人として成長。その人徳による感化は多くの武将・大名を受洗に導いた。また高槻城下の領民の多くがキリスト教徒となった。

右近は、戦国の世の過酷な軋轢の中も、自らの身をもって宣教師と信徒たちを守った。本能寺の変の後、安土城と城下が焼失すると、安土のセミナリヨを高槻に移すなど、キリスト教の保護に尽くした。

豊臣秀吉のバテレン追放令で、棄教を迫られたが、地位と領土を捨てることと引き換えに、毅然と自らの信仰を守り抜き、流浪の身となることを選んだ。

加賀の前田氏の招きで金沢で暮らすが、徳川家康のキリシタン追放令を受け、1614年、加賀を出て、徒歩で京都へと向かい、大阪を経て、長崎からマニラに追放された。現地で盛大な歓迎を受けるも、疲労と不慣れな気候から熱病を得て、到着後44日、63歳で没した。

7日、大阪城ホールでとり行われたユスト右近の列福ミサは、教皇庁列聖省長官アンジェロ・アマート枢機卿を教皇代理として迎え、日本の司教団はもとより、駐日教皇大使ジョセフ・チェノット大司教、右近とゆかり深いフィリピン・マニラのルイス・アントニオ・タグレ枢機卿、そしてアジアを中心とした各国の司教たちの参加を得て行われた。

日本の各教区から多くの司祭が集い、ミサの司式関係者は300人以上に及んだ。

ミサはラテン語と日本語を中心に進められ、信徒の祈りは英語・タガログ語・韓国語・ベトナム語など、また説教は日本語訳を伴ったイタリア語で行われるなど、国際色豊かなものとなった。

また、カトリック系の学校の生徒と各地の小教区の信徒からなる大合唱団と、学生たちのオーケストラの調べがミサを荘厳に彩った。

列福の儀式では、日本カトリック司教協議会の会長、岡田武夫・東京大司教が、教皇代理アマート枢機卿に、ユスト高山右近の列福を願い出た。

これに続き、右近の列福申請代理人（ポストゥラトーレ）アントン・ヴィットヴェル師が、ユスト高山右近のキリスト者としての生涯を紹介。

アマート枢機卿はこれを受け、ユスト高山右近を福者として宣言する教皇フランシスコの書簡を厳かに読み上げた。

これと共に、十字架を手にし、神の光列福の儀式では、日本カトリック司教協議会の会長、岡田武夫・東京大司教が、教皇代理アマート枢機卿に、ユスト高山右近の列福を願い出た。

これに続き、右近の列福申請代理人（ポストゥラトーレ）アントン・ヴィットヴェル師が、ユスト高山右近のキリスト者としての生涯を紹介。

アマート枢機卿はこれを受け、ユスト高山右近を福者として宣言する教皇フランシスコの書簡を厳かに読み上げた。

これと共に、十字架を手にし、神の光に内心を照らされるかのように座する、ユスト高山右近を描いた画が除幕された。

およそ1万人の参加者らは、信仰の人、ユスト高山右近の生涯を改めて振り返り、大きな感動と感謝をもってその列福を祝った。

（カトリック中央協議会のユスト高山右近の列福式記事より転載）

追記：ユスト高山右近の列福式には、三軒茶屋教会の協力司祭のヨセフ小西広志師も参加されました。



## 2017年2月度 教会委員会

日時：2017年2月12日（日）12：00～13：00

出席：湯沢神父、教会委員（小野、鈴木三、小林、茂木、金原、金子）典礼（安永芳）、  
信仰養成（洗川）、受付（津田）、営繕（安永三）、広報（大坪）、財務（-）

### 1. 2017年1月～2017年3月の行事（予定）

- |                  |                              |
|------------------|------------------------------|
| ① 玉川通宣教協力体会議     | 1月15日（日）@三軒茶屋                |
| ② 2016年度決算報告     | 1月21日（土）11:00-               |
| ③ 聖体奉仕者研修①       | 1月22日（日）13:30-@三軒茶屋 50名位参加   |
| ④ ボーイ/ガールスカウト餅料理 | 1月29日（日）餅つきは中止               |
| ⑤ 聖体奉仕者研修②       | 1月29日（日）13:30-@三軒茶屋 45名位参加   |
| ⑥ 聖体奉仕者研修③       | 2月5日（日）13:30-@瀬田             |
| ⑦ 聖体奉仕者研修④       | 2月12日（日）13:30-@渋谷            |
| ⑧ 信徒の集い          | 2月19日（日）8:30/10:30 ミサ後 10分程度 |
| ⑨ 灰の水曜日          | 3月1日（水）                      |
| ⑩ 灰の式/洗礼志願式      | 3月5日（日）                      |
| ⑪ 幼稚園卒園式         | 3月11日（土）教会委員長・ボーイ団委員長出席      |
| ⑫ 四旬節黙想会         | 3月12日（日）9:30-                |
| ⑬ 大掃除            | 4月2日（日）                      |
| ⑭ 枝の主日           | 4月9日（日）                      |
| ⑮ 聖週間            | 4月13日（木）～16（日）               |

### 2. 今月までの活動と気付き・反省点等

\* 餅料理：今回はノロウイルス対策で市販の餅を利用した為、有料としたが来年は従来通りの形式で行う予定。今回材料費がかかるため特別に教会から寄付金を出した。

\* おとずれ新年号

- ①16年度収支計算書及び建設関係収支計算書の印刷が不鮮明だったのでその部分を刷り直す。
- ②教会委員会議事録中の信仰養成委員会報告の中で「入門講座の講師が定着しない」とあるのは「受講者が定着しない」の間違いだった。

### 3. 各委員会から

\* 典礼：朗読奉仕者研修会を3月19日に開催する。（10:30 ミサ後）  
四旬節のスケジュール再確認。

\* 信仰養成：谷津神父様の指導で3月12日に四旬節黙想会黙想会を行う。当日は十字架の道行き・ゆるしの秘跡まで実施する。昼食券の販売は2月12日から行う。

\* 財務：特になし

\* 営繕：現在設置しているAEDが使用期限を迎える事から交換する。

\* 広報：特になし。

\* 受付：特になし

### 4. その他

\* 信徒の集い

財務/営繕報告。eメールによる連絡網導入の方針説明。

\* みょうじょう幼稚園の入園式にあわせて教会からはお祝いのカードを用意。文面等については、事前に幼稚園側と調整。

次回教会委員会は3月19日（日）12：30～

次回活動G合同会議は2月19日（日）12：15～

以上

## 山谷おにぎり奉仕会

平成8年から毎月第3木曜日に、おにぎり奉仕を続けています。  
メンバーは三軒茶屋教会だけでなく渋谷教会・関口教会の方々、その友人など12～3名で米30キロ、450個位を作ります。

朝早くお米をとぎに来て下さる方、出来上がった「おにぎり」を車で山谷に届けて下さる方など、いろいろな形でのご協力のもとで続けております。  
それと共に皆様から頂く寄付の品々も大きな支えとなっています。  
心から感謝を申し上げます。

これからも「おにぎり」をとどけられますよう、一緒にお手伝いしていただければと願っています。是非、お声をかけてください。

### 会計報告：2016年1月～12月

収入：

教会財務からの協賛金	80,000
前年より繰越金	74,352
寄付金	19,200
合計	173,552

支出：

米 248 キロ(450 個×10 回)	72,968
海苔	9,600
梅干し、つくだ煮等	14,665
高速道路料金	20,000
合計	117,233
2017 年繰越金	56,319
2016 年頂いた寄付	現金 19,200 米 43,4 キロ 梅干し・のり他

3月5日の洗礼志願式の皆様



## 人のうごき

### 帰 天 永遠の安息をお祈りいたします

2017年2月7日

マリア・アンナ 井上 芳子 ⑩ブロック

2017年2月7日

マリア・カタリナ 森村 八重子 ②ブロック

2017年2月20日

アロイジオ 鷹栖 昭治 ⑨ブロック

### 転出 訂正 謹んで訂正いたします

小さきテレジア 三島 愛子 ③ブロック

マリア 三島 亜紀 ③ブロック

前号で転出先を麻布教会とお知らせしましたが正しくは横浜教区伊東教会でした。

## こよみ

### 3 月

- 3月12日(日) 四旬節第2主日
- 3月17日(金) 日本の信徒発見の聖母 19時30分十字架の道行き
- 3月19日(日) 四旬節第3主日
- 3月20日(月) 聖ヨセフ
- 3月23日(木) 聖トゥリビオ (モングロベホ) 司教
- 3月24日(金) 19時30分十字架の道行き
- 3月25日(土) 神のお告げ
- 3月26日(日) 四旬節第4主日
- 3月31日(金) 19時30分十字架の道行き

### 4 月

- 4月2日(日) 四旬節第5主日
- 4月4日(火) 聖インドロ司教教会博士
- 4月5日(水) 聖ビンセンチオ・フェレル司祭
- 4月7日(金) 19時30分十字架の道行き
- 4月9日(日) 四旬節 受難の主日 ミサ前枝の行列
- 4月13日(木) 聖木曜日・19時30分主の晩餐夕べのミサ洗足式
- 4月14日(金) 聖金曜日・15時十字架の道行き 19時30分 主の受難の典礼
- 4月15日(土) 聖土曜日 19時30分 復活徹夜祭 光の祭儀・洗礼式
- 4月16日(日) 復活の主日 聖体奉仕者任命式 10時30分の復活ミサ後 イースター茶話会

## あ と が き

- ◇ 四旬節号をお届けいたします。
- ◇ 今号の巻頭言は、湯沢神父様が四旬節を過ごすために、「放棄」という題目をいただきました。4月には札幌教区北十一条教会に転任され主任司祭として活躍されることとなりますが、長年保管されていた各種の楽譜や思い出の品々を選別して整理されることが、四旬節中の犠牲になる旨の記事を掲載しております。
- ◇ 2月7日のキリシタン大名のユスト高山右近の列復式で、カトリック中央協議会の掲載記事を転載させて頂きました。
- ◇ フランシスコ会の人事で4月から湯澤民夫神父様は、札幌北十一条教会主任司祭に。内藤孝文神父様は、釧路教会主任司祭。小西広志神父様は三軒茶屋教会主任司祭に就任されます。
- ◇ 3月5日の洗礼志願式、8名の皆様が与りました。
- ◇ 次号「復活祭号」(第62巻 第3号)は、4月16日発行です。



『おとずれ』第62巻 第2号 2017年(平成29年)3月12日発行  
発 行 カトリック三軒茶屋教会  
編集・印刷 カトリック三軒茶屋教会・広報委員会  
主任司祭：ミカエル 湯 澤 民 夫  
〒154-0024 世田谷区三軒茶屋 2-51-32  
TEL 3421-1605 FAX 3421-9788  
<http://home.f05.itscom.net/sancha/index.htm>  
[sancha-catholic0629@leaf.ocn.ne.jp](mailto:sancha-catholic0629@leaf.ocn.ne.jp)